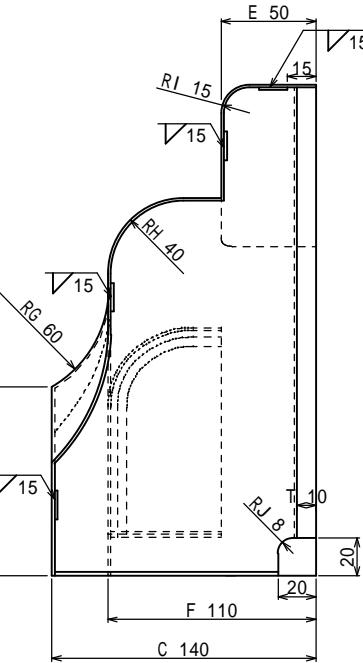
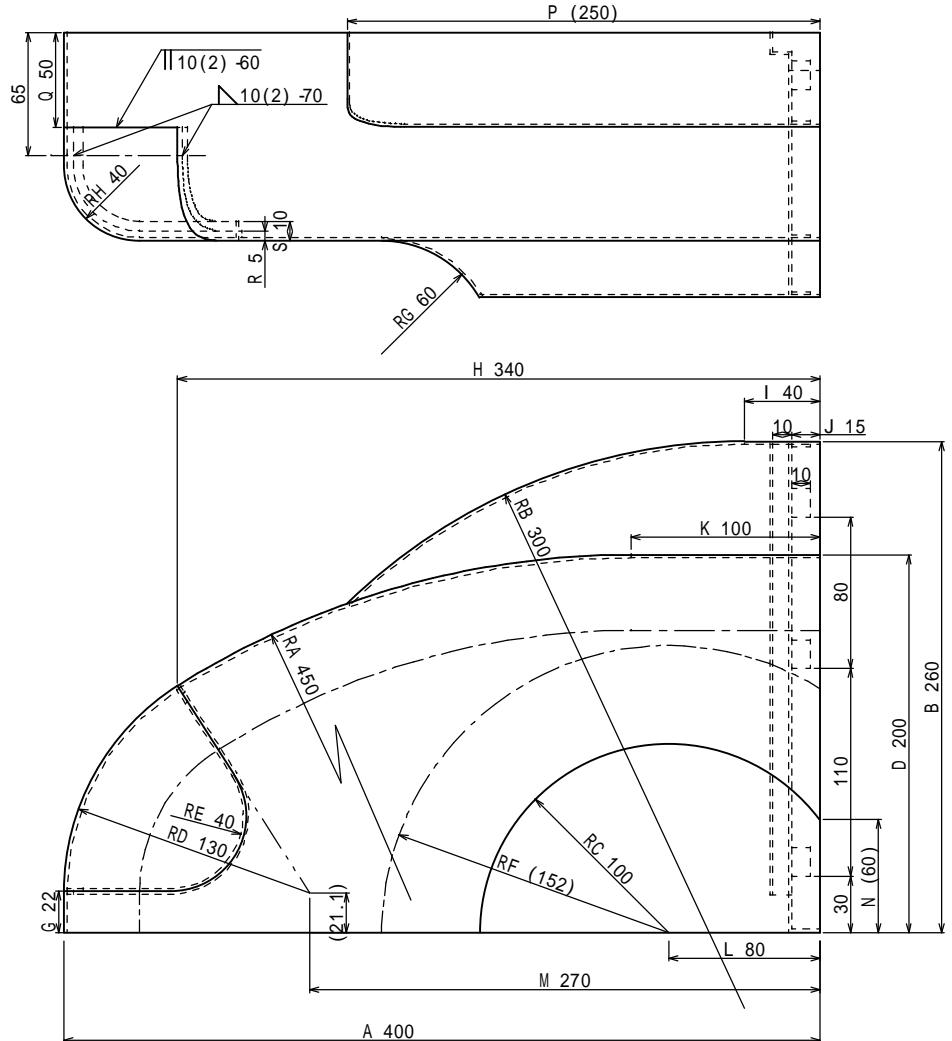


第49回 技能五輪全国大会「自動車板金」職種 競技課題



次の事項にしたがって、左図に示す製品を作りなさい。

1 競技時間

7 時間 30 分

2 指示事項

寸法公差は次のとおりとする。

| 寸法 (mm) | 公差 (mm) |
|-----------|---------|
| 15 以下 | ± 0.5 |
| 15 を超えるもの | ± 1.0 |

ただし、R形状については、R寸法に関係なく形状誤差を0.5mm以下とする。

溶接部以外は加熱してはならない。

製品板端の切口面は糸面取りを施すこと。

3 支給材料

冷間圧延鋼板 SPCC 0.8 × 914 × 914mm 1枚

第49回 技能五輪全国大会『自動車板金職種』持参工具一覧表

【持参工具】

| 区分 | 品名 | 寸法・規格・使用方法 | 数量 | 備考 |
|---------------------------------|----------|---|----|------------------|
| 工 具 及 び 測 定 具 | スケール | 直尺・曲尺・自在定規 | 適宜 | |
| | ノギス | | 適宜 | |
| | ハイトゲージ | トースカンも含む | 適宜 | |
| | すき間ゲージ | シックネスゲージ(テープ)・ピンゲージ・テーパーゲージを含む | 適宜 | 測定用 |
| | スコヤ | | 適宜 | 測定用 |
| | けがき針 | | 適宜 | |
| | センターポンチ | | 1 | |
| | コンパス | | 適宜 | |
| | やすり | | 適宜 | 紙やすり・バリ取り用等も含まれる |
| | 金切りはさみ | | 4 | |
| *ならし金敷き | 切りたがね | | 1 | |
| | 影たがね | 最大刃長は、80mm以内、使用面は一面で凸形状とする。 | 6 | 材質は問わない |
| | 片手ハンマ | 各種基本形状のもの | 20 | プラスチック製も可 |
| | 板金ハンマ | | | |
| | 木ハンマ | | | |
| | 心金 | 支柱を含めた最大長さは500mm以内とする。 横断面形状は均一とし、最大寸法は80mm以内で凸形状とする。 端部の角は、R10mm以内とする。(全周同一Rとする。) 支柱は、端面に取付けるものとする。 | 8 | 支柱は使用しない |
| | ブロック | 直方体 | 3 | |
| | 板金定盤 | 最大600X700mm以内 | 1 | |
| | 測定定盤 | 最大600X900mm以内 | 1 | |
| | 木製当盤 | 最大長さ300mm以内、横断面の最大寸法は150mm以内とする。 凸形状とする。 当盤同士の組合せ、および木うすとの組合せを禁止する。 | 5 | プラスチック製も可 |
| その他 | 木うす | 使用面の最大は500mm以内、使用面は1面とする。 彫込み内に、凹凸を設けないこととする。 上面エッジの面取りは、C3またはR3までとする。 | 1 | プラスチック製も可 |
| | 砂袋 | | 1 | |
| | ゴム板 | 板厚は5mm以内、形状は正方形または長方形とする。 競技中、工具への貼り付けは、可とする。 | 適宜 | |
| | けがき用シート | 板厚は0.5mm以下、200mm×200mm以内の正方形、長方形とする。 事前ケガキは、不可とする。 | 2 | 樹脂製 |
| | のこ・のみ | 木工用 | 適宜 | |
| | マグネットベース | | 適宜 | |
| | プライヤ | やっこ、バイスプライヤ、つかみはし 持参工具や作業台との固定は不可とする。 | 適宜 | |
| | 電気ドリル | バッテリー式も可、割れ止め用ドリル(Φ3mm)以下も含む | 一式 | |
| | 作業台 | 万力 | 一式 | |
| | ガス溶接装置一式 | 調整器(酸素用は、取付け口が袋ナット式のもの)、ホース、吹管 火口、溶接作業台、吹管立て、イス、手袋、保護メガネ、ライター 保護具等 | 一式 | 酸素・アセチレンは会場に準備する |
| その他 | ウエス | | 適宜 | |
| | ビニールテープ | 養生用、ガムテープも可 | 適宜 | |
| | 筆記用具等 | ペン、時計、電卓、消去液、防錆油、カッターナイフ、工程表、メモ用紙も含む | 適宜 | |

* 注意事項

- 1 数量は最大数であり、使用しない場合は持参しなくてもよい。
- 2 工具で縦型などに該当するとみなされるものは持参を認めない。ただし競技中に工具を修正することはかまわない。
- 3 万力に固定できる工具は*がついているものとする。(製品の固定は、不可とする)
- 4 床焦げ防止対策資材を用意する。
- 5 ガス溶接技能講習修了証を持参すること。